

産業廃棄物中間処理施設の見学報告

見 学 日：2022年6月2日

見 学 場 所：東港金属(株)、高俊興業(株)東京臨海エコ・プラント

【視察の目的】

- 当社施工現場で排出される廃棄物の適正処理確認
- マニフェスト処理、リサイクル計画書等作成のための現場把握、知識向上

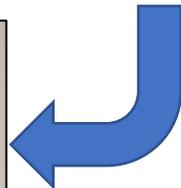


東港金属株式会社

京浜島
工場本社

最初に、京浜島本社にてご担当者様から東港金属(株)について、お話を伺いました。

東港金属は、1902年創業で今年7月で創業120年を迎える企業！
2020年にはサイクルーズ(株)を立ち上げ、東港金属(株)など4社をグループ会社として、
金属の再資源化、中間処理業務のみならず、収集運搬などの輸送、再生資源の輸出、
IT化にも取り組み、アプリの開発なども行っているとのこと。



入口には、認定証などがずらり☆
産廃エキスパート認定を取得する
には、とても厳しい要件をクリア
しなければならないそうです！

産業廃棄物の中間処理及び収集運搬業では、東京都の産廃エキスパート認定を
取得しており、ISO14001（環境マネジメントシステム）及びISO27001
（情報セキュリティマネジメントシステム）の認証も受けていました。

（いただいたパンフレットより）



東港金属株式会社

京浜島工場 中間処理施設

次のは、中間処理施設の見学です。

廃棄物を降ろすまでの流れを確認。
搬入→放射線測定・重量測定→産廃物の種類ごとのゲートへ！

【目視できた処理機械たち】



【当社と関わりのある主なゲート】



鉄などの金属類



混合廃棄物



電線等



大型の廃棄物



大型→圧縮油圧切機



鉄・アルミ→切断・プレス



混廃物→破碎

【選別機】



【圧縮梱包機】



内容物ごとに降ろす場所が決まっているため、ドライバーさんがそれぞれの場所に荷物を降ろしながら場内を巡っていくようです。そのため、回収の段階で、選別・仕分けがしっかり行われていることが重要！
排出業者としても、廃棄物の分別の徹底が必須だと改めて感じました。



東港金属株式会社

京浜島工場
中間処理施設

☆今回の見学で印象に残っている取り組みや企業努力☆

- 24時間、産業廃棄物を受け入れている
- 搬入された廃棄物は、その日にすべて処理する
- 収集運搬の業者さんと協力し、危険物を持ち込まないよう徹底している
- 今後の課題は、マテリアルリサイクルの比率を増やすこと
- ドライバーさんへ、おしぼりの配布（おしぼり機を出入口に設置）と自動販売機の飲み物を1本無料提供している
また、ドライバーさん等が気軽に手に取れる受付に、季節ごとに熱中症飴やチョコなどを置いている
- 年に1度、環境報告書をまとめ、取引先や見学者への配布、HPでも公開している
報告書では、SDGsへの取り組みが広く周知される前から環境への取り組みを行っており、【騒音・振動・悪臭・粉じん・雨水】の調査を年に2回、本社工場及び千葉工場で行い、公表している

【まとめ】

会社として環境問題への意識が高く、どんなものでもリサイクルできるための設備整備や仕組みの確立に向けて取り組んでいるという熱意が伝わり、またそれを少しずつ形にされていた。ドライバーさん等社外の方への配慮や感謝の気持ちが形となっている取り組みがいくつも見受けられ、気持ちよくお仕事ができる環境づくりもされており、今後も安心して産業廃棄物処理をお任せできる企業だと再認識できた。



高俊興業株式会社 東京エコ・プラント

最初に、高俊興業の中間処理施設についてのビデオを見ました。
その後、ご担当者様にお話を伺いました。

高俊興業では、多種、大量の産業廃棄物を最先端技術を駆使した
高精度選別再資源化システムにより選別し、無害化、減容化を図り、
再資源化率の向上と埋立処分量の削減に努めているとのこと。



【破砕機】



【一次選別】



【二次選別】



【集塵装置】



【再生設備】



中間処理業及び収集運搬業で産廃エキスパートを取得しており、
ISO14001（環境マネジメントシステム）
ISO45001（労働安全衛生マネジメントシステム）
ISO39001（道路交通安全マネジメントシステム）
の認証も受けていました。

高俊興業株式会社 東京エコ・プラント

次に、中間処理施設内を見学させていただきました。

ダイビングヤード



説明を聞いている間も次々に
廃棄物が搬入されてきました！



ここでは**手作業**で、廃棄物の選別を行っていました
マテリアルリサイクルできるよう、可能な限りの選別を
行っているそうです！

中央操作室



工場全ての設備機器の円滑な
稼働を集中管理！
ITVカメラ24台を操作して
機器の稼働状況、作業員の作
業状況、搬出入の待機状況も
把握しているそうです！

手選別室

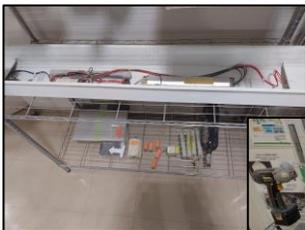


手選別室の中はこんな感じに
なっているそうです！



混廃の処理ラインには、手選別コンベヤが2台配備
されていて、1台は、破砕機投入前に危険物や破砕
不適物の除去、金属くず・塩ビ系廃プラ類・ダン
ボール・木くず・石膏ボード等の回収。
もう1台は、再生砕石の混入異物を除去し、品質精
度を高めるために配備しているそうです！

処理不適物の展示コーナー



手選別室の見学スペースには、【処理不適物】の展示スペースがありました。

排出事業者としては、もっとも注意すべき点です！

当社から排出することの多い照明器具などにも電池やバッテリーが入っているものがあるので、
排出する際には注意深くチェックして取り除き、処理施設での火災や事故の原因とならないよう
周知徹底しようと改めて思いました。

高俊興業株式会社 東京エコ・プラント

☆今回の見学で印象に残っている取り組みや企業努力☆

- 事前予約で夜間も産廃の受け入れを行っている
- 高精度選別ラインによって、リサイクル率は2022年3月までの実績で92%！
(マテリアルリサイクル70%、サーマルリサイクル22%)
- マテリアルリサイクルの比率をさらに増やすため、ダンピングヤードで混合廃棄物の中から手選別で細かく仕分けを行うようにしている
- 処理設備全ラインをITVカメラで常時監視して処理状況に応じで機器設備をコントロールしている
- 社員教育に力を入れており、社員への法規勉強会、コンプライアンス教育やドライバーの安全教育など多数行っている
- 見学中に廊下などで社員の方とすれ違くと、必ず挨拶してくださる

【まとめ】

高精度の選別ラインによって当社で排出した産業廃棄物も純度の高いリサイクル資源となっているのだと感じ、安心した。また、運搬状況・処理状況などすべてにおいてシステム化されており、監視体制が徹底されていた。だが、機械化が進む中でも高精度の資源になるためには、人の手での選別がどの過程でもとても大切で、作業員の方の大変さも感じた。

リサイクルにおいてだけでなく、社員教育にも力を入れており、社員だけでなく取引先に対しても配慮が感じられた。廃棄物が、どんな方々によって受け入れられ、処理されているのかという流れが分かり、今後も安心して産業廃棄物処理をお任せできる企業だと再認識できた。